

セミナー
「小学校受験で成功する子育て法」
2008/7/21



ウエルストリーム

2008 (C) Well Stream Inc. All Rights Reserved

「小学校受験で成功する子育て法」って？

「子育て法」についてのセミナーに入る前に、まず、自分自身の子供の頃(0歳～5歳)を思い出してみてください。ここでは発表しませんし、提出もありませんので、今から5分間で考えてみてください。

- ①まず、自分がどう育てられ、そしてどうなったか？自己分析してみましょう。
- ②大人になり、親になった今思うと、良かった点と良くなかった点は何ですか。
- ③では、今度は、お子様に対してあなたはどのようにあげたいですか？
- ④それはお子様が30年後「立派な社会人」として自立し、社会に貢献するのに役立ちますか？

「小学校受験で成功する子育て法」って？

＊「私立小学校受験で上位合格している生徒」 の共通点

→ひとことでは、**「5～6歳とは思えないほどしっかりしていて利発な子。」**

- ①品がある。(しつけよく育てられた子)
- ②素直な心。
- ③論理的思考が出来て、自分の言葉で筋道立てて説明できる。
- ④自ら学び、考えるための土台としての知識(前提知識)がある。

「小学校受験で成功する子育て法」って？

しつけ(品格)についてのケース①:
デパートやスーパーで2~3歳の子供
が商品の前で、駄々をこねています。
大声で泣きわめいているので周囲
の人に迷惑をかけられないと思い、
結局根負けして母親がそれを買
い与えてしまいました。

「小学校受験で成功する子育て法」って？

ここでお子様に絶対に負けてはいけません。

一歩もひいてはいけないのです。

0歳～3歳の時期は徹底して厳しくしつけるべきです。この時期に厳しくしつけておかないと後になって厳しくしても効果がありません。そういう子供が成長すると自分の要求が通らないとすぐに切れる「子供じみた大人」になるのです。

しつけとは形を身につけさせることです。だから、意味が理解出来ない時期こそ厳しくしつけるのです。家庭内では、ときには手をあげて体罰を与えることが必要な場合もあります。ご両親が勇気をもって育てると「いい形＝品格」が身につきます。

よくある反論＝0～3歳の子供に言い聞かせてもどうせ理解出来るはずがない。4歳以降になって自我が芽生える頃になって理解出来るようになってから良く言い聞かせれば良い。「子供だから仕方がない。」

←間違っています。4歳以降に突然厳しくすれば、ご両親に対して不信感をもつばかりです。また、「0～3歳の子供に言い聞かせてもどうせ理解できない。」は誤りです。ここ最近の研究では0～3歳の子供は周囲の大人の話している内容を理解しているとのことです。百歩譲って何を話しているかわからないとしても、「我が子の将来を思うからこそ敢えて厳しくしている」という「ご両親の真心」は必ずお子様に伝わっています。

「小学校受験で成功する子育て法」って？

「子供だから仕方がない。」の言葉はお子様の成長を著しく阻害します。

いつまでも「子供」でいたほうが我が儘がきくし、周囲の大人達から大切(尊重)にされるから、いつまでも「子供」でいようと思います。結果、精神年齢が上がりません。→小学校受験で合格できません。

また、子供は本当によく覚えていて、大人の言い訳を自ら使います。努力や我慢を全くせずに、「だって、〇〇だからしょうがない……」を連発します。

子供は大人の甘さに際限なく甘えます。

「今日だけよ。」と言って、1回許すと、同じシチュエーションで毎回要求してきます。味を占めるのです。また、自分に対して家族の中で誰が一番甘いかも本能？で良くわかっていて、大人の甘さに際限なく甘えます。

「小学校受験で成功する子育て法」って？

素直な心についてのケース②

人から自分の間違いを指摘されると、自分が間違っていたと気づいてもそれを絶対に認めずに「自分が正しい。」と言い張る。しまいには泣いて自分が正しいのだと訴える。それを見た母親は駄々をこねていてうるさいので「そう、そう、〇〇ちゃんは悪くないのよ。□□が悪いのよ。」と言って泣き止ませる。

そして、後日「うちの子は一度言い出したら聞かない強情な子なんです。それで困っているんです。」と子供の前で他の大人に話す。

「小学校受験で成功する子育て法」って？

まず、当たり前ですが、子供が泣こうがわめこうが「正しいことは正しい。」「間違っていることは間違っている。」のです。この問題で譲ってしまうと正しい、悪いが相対的になってしまいます。これは非常に危険です。

→0～5歳の時期に何が正しくて、何が悪いことか(規範意識)をしっかり刷り込むべきです。子供達にとって褒められて心地良いことが正しい、厳しくしかられ、家庭内ではときには体罰もあり、不快なことは悪いことなのです。だからこそ悪いことをした時には厳しくしかり、不快にさせるのです。そして、いいことをしたときは褒めちぎって心地良くさせます。この日々の繰り返して規範意識が身につきます。お子様の心の中に「正邪の尺度」を確立させるのです。

次に、自分の間違いに気づいたのに認めない。改めない。謝らない。強情をはる。

←そうやって強情はっていたら、不快なことを体験させ、子供が根負けして自分の間違いを正直に言ってきたら、褒めるのです。「自分からそう言うのはとっても偉いね。」「誰が悪かったの?」「なにがどう悪かったの?」と聞き出していきます。するとお子様も自分の口から語ったことなので自分が悪かったという結論にも納得がいきます。

←さらに、「自分のことを思って言ってくれる親の言うことや、先生の言うことは、せっかく教えてくれているのだから素直に聞き、実行するものだ。そのほうが自分のためになるのだ。」という価値観を身につけさせるのです。(無論知らないおじさんの言うことを素直にきくのはNGですから、知らないおじさん、おばさんは除きます。)

「小学校受験で成功する子育て法」って？

子供も自分が一目おいている人のいうことは素直に聞きます。逆に自分が心の中で馬鹿にしている人の言うことは聞こうとしません。

実は、大人もそうなのですが、大人はそれをストレートに表情・行動に出しませんので一見わかりません。しかし、子供達は態度を極端に変えてきます。では、0~5歳の子供に人を見る目が普通にあるのでしょうか？直感でその大人がいい人そうか、悪い人そうかはわかるかもしれませんが、その人の能力までは見抜けないのがほとんどです。

ではどうしてその人を馬鹿にするのでしょうか？

実は、ほとんどの場合、大人達がお子様の前でそういう評価を下しているからです。

←「幼稚園の〇〇先生は若いだけで経験がなく、良くない。ハズレだ。」というようなことをお子様の前で大人同士でつい話していませんか。それを聞いているお子様がその〇〇先生のアドバイスを素直に聞くはずがありません。つまり、大人を馬鹿にする子供さんはその周囲にそういう会話を無防備にする大人がいるためにそうなったと考えられます。

子供が素直でない本当の原因は？生まれつき性格が強情だからですか？

では、素直にその先生の指示を聞き、学んで欲しかったら、どうすれば良いでしょうか？

→その先生を子供の前で意識的に褒めるのです。例えば、こんな感じです。—「〇〇先生は若いけれど、すごく頭が良くて何でも知っているんだって、それに一生懸命やる生徒にはとっても優しい先生なんだって。」「あなたも一生懸命やったらいいんじゃない？」

「小学校受験で成功する子育て法」って？

- ケース③: 何を尋ねても、文章で話せない子供達。
- 単語だけの会話。「わかった。」「いやだ。」「疲れた。」「つまんない。」「わかんない。」「おなかすいた。」「のど渴いた。」「眠い。」「好き。」「嫌い。」
 - いつ、どこで、だれが、なにを、どのように、なぜしたのか？(5W1H)どころか、主語、述語さえ入らない会話。その場、その場の自分中心のわがままな欲求を表す言葉が出てくるだけ。
 - 大人に対しても、幼稚園の友達に対するような言葉遣い。敬語どころか、丁寧語もまったくない世界。
- 「子供だからしょうがない！？」で本当にいいんですか。

「小学校受験で成功する子育て法」って？

Q-1:そもそも0歳の頃、大人のほうまで「ぶーぶー」「わんわん」などの赤ちゃん語で
お子様に語りかけていませんか？

→正しい日本語をいち早く教えるべき時期に大人が子供のレベルにまで下がって赤
ちゃん語を話すのは子供の進化を止めてしまいます。少しでも早く言葉を覚え、
意志の疎通を目指している赤ちゃんサイドからはありがたい迷惑でしかありません。

Q-2:日本で生まれ育った子供はなぜ日本語を話せるのでしょうか？

→言うまでもなく周囲の大人達が話す日本語を聞いて覚えたからです。

Q-3どう指導したら子供は正しく・美しい日本語を話すようになるのでしょうか。

→まず親自身が正しく・美しい日本語を話すべきです。つまり、単語で話さずにきちんと
主語・述語の入った文を意識して子供の前の会話で使うのです。

また、丁寧語や敬語を話してほしかったら周囲の大人自身がお手本を示し、真似
をさせるのです。

→そうはいつでも、ご両親の日常会話だけでは会話内容が限られてくるので、美しい
日本語、整った日本語の載っている童話や昔話の読み聞かせをして、きまった言
い回しを自然と覚えさせます。そして、新しく覚えた言い回しを覚えて使ったら褒
めるのです。言葉・言い回しを覚えて使うとお父さんお母さんがとても嬉しそうな
顔をしてたくさん褒めてくれるので、それが嬉しくてまた覚えて使う。という「善循
環」が始まります。この意味で読み聞かせはとても重要です。

*品の良さとは「立ち居振る舞い」+「言葉遣い」+「周囲への気配り」ですから言
葉遣いは特に重要です。

「小学校受験で成功する子育て法」って？

さらに具体的な手法としては

(1) 子供が単語だけで話しかけてきたら、「きちんと話すゲーム」をします。例えば、

例1

子供: のど渴いた!

母親: 「僕は(わたしは)のどが乾いたのでコンビニでジュースを買って下さい。」と2回スラスラ言えたら、買ってあげるわ。

例2

子供: クーピー!

教師: 「先生、僕は(わたしは)クーピーをお家に忘れてきてしまったので塾のクーピーを貸して下さい。」ときちんと言えたら貸してあげる。

(2) 童話・昔話の読み聞かせ中に、ときどきストップさせてこの場面であなたならどう思う? と尋ねます。正しい日本語を話すのにとどまらず、情緒豊かな子供になり、人の気持ちがわかる優しい子供になります。

子供: かわいそう~!“

母親: だれがどうしてかわいそうなの?

子供: ネロがパトラッシュと一緒に幸せな夢を見ながら、死んじゃったから……。ネロ・パトラッシュ~! 死んじゃいやだ~、死なないで~! ママ、ネロは何にも悪いことをしていないよね。

つまり、できるだけ5W1Hを盛り込んで話すことを日々習慣づけるのです。かなり大変に感じますが、お子様は一旦習慣づければ、苦もなくきちんとした日本語を話せるようになります。

「小学校受験で成功する子育て法」って？

ケース⑤:

- ・母親談: 海外旅行に9ヶ月の子を連れて行って向こうで悪い病気にかかったら……心配よね、ミルクやオムツの準備も大変なのよね。むこうのベビーシッターには危ない人がいるというから、子供は実家に預けて、二人で行きましょう？
- ・父親談: そんなこと、まだ早い！ どうせ説明したって理解していないし、無意味だ。
- ・母親談: 「どうして、どうして？」っていちいちうるさいわね！ そう決まっているの！
- ・父親談: 文科省がひらがなは小1で学ぶと決めているし、小学校受験には出ないのだからまだ文字など教えなくていい。
- ・祖母談: そんな小さい頃から詰め込んで、勉強嫌いになったら、後々苦労するわよ。
- ・祖母談: あなたも中学までは公立だったし、そんなお金と手間をかけて私立小学校にいれなくもいいんじゃない？ 埼玉には浦高・浦和一女もあるんだし、ずっと公立でも……。

「小学校受験で成功する子育て法」って？

- ・赤ちゃんにはできるだけ外に連れて行き、外界の刺激にふれさせる。それが赤ちゃんの知的能力を伸ばすコツです。もちろん病気にかかるとか事故にあうとかリスクはあります。しかし、安全だから、その方が楽だからといって家の中に閉じ込めておき、ベビーベッドの上のガラガラだけが外界の刺激ではあまりにも刺激が少なすぎです。もし赤ちゃんがしゃべれば、「ママ、つまんないからわたしをお外に連れて行ってね。せっかく生まれてきたのだから、美しい自然や素敵な街をもっと見てみたいの。」と言っていますよ。
 - ・適切な時期に与えれば苦もなく身につけられるのにまだ早いと言って与えなかったためにその後その何倍も苦労することがあります。
 - ・世の中のすべてのことに好奇心を持ち出す時期が来たのに、それに応えてあげないと勉強嫌いになります。好奇心をもったときこそ、勉強もやる気が出て、はかどるからです。
 - ・生まれつき音楽・絵画などの芸術分野や運動分野で才能の違いがあるのに学習面の才能だけはまったく同じなのではないでしょうか？
- たとえ兄弟であっても、子供によって違いのあることを受け入れ、そこから「長期子育て計画」がスタートします。その子にとって適切な時期であればOKです。
- ちなみに、確かに国立大学附属小ではひらがな等の文字はさすがに一切出ませんが、私立小学校では文字や数字が読めることが前提となっている問題をたくさん見かけます。
- また、文字が読める子供は教えられなくても読書によって自ら知識を吸収できるようになります。この差はかなり大きいのです。ですから、頭の良い人にするために文字は早くから教えるべきなのです。文科省の指導要領は本来最低ラインを決めたものですから、そんなものにとらわれる必要はありません。

「小学校受験で成功する子育て法」って？

- ・興味を起こさずに無理に教え込むんでしまうから嫌になるのです。子供の向上心と好奇心をうまく刺激して興味がでてきたところで勉強させる。だから、たくさん勉強したとすべき。
- 尚、詰め込みというのは既に中身が詰まっているところに新たに入れるので「詰め込み」と言いますが、中身がほとんど空っぽのところに入れるの「詰め込み」ではなく「知識の吸収＋定着」です。
- ・ずっと公立も否定しません。私自身もそうでした。
- ・中学から受験して、私立中高一貫校も否定しません。
- ・結局は親戚がなんと言おうと、30年後お子様にどういう社会人になって欲しいか？から逆算で小学校受験をするかどうかご両親様が決めるものです。おじいちゃん、おばあちゃんは所詮責任がないので、いろいろ言います。そういうものです。

参考1 「頭の良い子に育てるために」

1、「本当に頭がよい子」ってどういう子？

- (1)理解力がある
- (2)記憶力がある
- (3)知識がある
- (4)人の気持ちがわかり、気配りが出来て、人格的にも優れた子。
子育てでは最初に両親のビジョンありき。

2、興味をもったことは何でも覚えるのが幼児。

→興味を持たせる作戦

3、読み聞かせの効用

- (1)お話作り→作文力→読解力のベース
- (2)文字に興味を持ち→本が好きになる
 - すすんでたくさん読むので読解力がつく
 - どの科目も国語力(読み・書き・作文構成力)が基本
- (3)読み聞かせの本を選ぶことにより、道德意識(公德心)、しつけ、教訓、世間常識などを楽しく学べるようになる

4、幅広くイイ物、本物を体験させる。

→いつも本物を見ているとその価値がわかるようになる

参考2 「子供をまっすぐ育てるには」

1、心優しい子に育てたい。

「自分でされた嫌なことは人にはしない。」

2、礼儀正しく育てたい。

礼法のスタートは「言葉遣い」から。

3、正直で、素直な子にしたい。

親自身が人間として正しい生き方(生活の態度)を手本として示し、日々実行していることが大切。口先でこまごまと言うより行動。

4、子供は不合理な存在で同じことを何度も間違えながら成長していくもの。

5、第1次反抗期

6、マスコミからの情報過多で取り越し苦労が多い。

2、名門私立小に合格する5つの鉄則

- **鉄則1 本気で合格させる覚悟で取り組む。**
受験する以上は出来る限りの努力をする。親子ともども全力で取り組む。途中「ぶれない」ことが肝要。
「〇〇小学校ならこの程度で大丈夫！」←100%そう言い切れますか？
- **鉄則2 「名門私立小学校が欲しいと思う子供」に育てる。**
どこの私立小学校でもペーパーだけでは合格できません。
「本当の頭の良さ」と「コミュニケーション能力」と「品格(しつけ)」
- **鉄則3 お子様と御父母様を合格まで導ける力のある教師の指導を受ける。**
「幼児に教えるのだから誰にでも出来る？」←プロとアマのレベル差
- **鉄則4 本当に実力のつく教材を使う。**
従来の市販教材だけでは新傾向に全然対応できません。
開智小学校、さとえ学園小学校、星野学園小学校
- **鉄則5 各小学校の正確な情報をつかむ。**
学校説明会だけでは情報不足。それぞれの私立小学校の校長先生や副校長先生、
教頭先生と年間5回以上面談し、受験のプロとしての取材。
+受験生(卒塾生)から貴重な生情報

ウエルストリーム生多数合格の秘密(1) —なぜ毎年これほどたくさん合格するのか？

1、2年間絶対合格コースがその原動力！

→お子様の成長ペースに合わせて無理なく

学習開始—子育てとの連携。楽しく、はじめ正しい授業

2、週2回通塾がメインコース

→生活習慣の中に学習習慣が定着、毎週全科目を学習

3、復習完璧主義

→ $3 \times 7 = 21$ 学習法

忘却曲線理論に基づいた学習法

4、黙想・礼儀作法・品格指導

→「公的な場所での行動」と「私的な場所での行動」は変えるべき。新年中(現年少)からあるべき行動を実践行動。

5、心の成長＋素直な心

→「自分がされて嫌なことは人にしない。」=自分だったらどう思うか？相手の立場に立って(置き換えて)考えられる心

ウエルストリーム生多数合格の秘密(2) ーなぜ毎年これほどたくさん合格するのか？

6、優れた独自教材

→各私立小学校の出題傾向に合わせ、毎年延べ1500時間以上かけて、担当教師自身が制作。

7、思考力重視の新傾向問題にも完全対応

→中学受験入試問題の影響を受けている思考力問題にも対応！もともとの専門が中学・高校受験だったので中学受験の傾向を熟知。

8、情報戦略

→各私立小学校の情報を受験のプロとして収集し、志望校別コースでフル活用。そのレベルは他塾のスタッフがわざわざ盗みにくるほど。

9、質の高い教師陣

→プロの塾教師の集まり。経歴は様々、願いは一つ。

10、「絶対合格の信念」

→人生は信念により切り開かれる。大切にしている詩『Yes, I can.』